

製品名: グルタミナーゼ C ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21563**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:68kD;Observed MW:55-65kD

抗原情報

遺伝子名	GLS
別名	GLS1 KIAA0838
遺伝子 ID	2744.0
SwissProt ID	O94925
免疫原	ヒトグルタミナーゼの合成ペプチド

背景

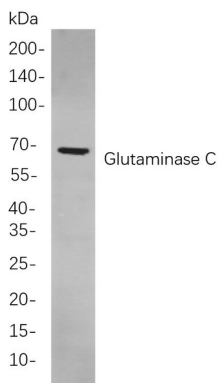
細胞局在: 細胞質。この遺伝子は K 型ミトコンドリアグルタミナーゼをコードする。コードされるタンパク質はリン酸活性化アミドヒドロラーゼであり、グルタミンをグルタミン酸とアンモニアに加水分解する反応を触媒する。このタンパク質は主に脳と腎臓で発

現し、代謝のためのエネルギー産生、脳神経伝達物質グルタミン酸の合成、そして腎臓における酸塩基平衡の維持に重要な役割を果たす。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2012年1月]

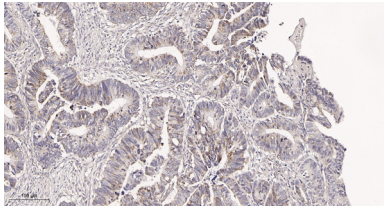
研究分野

-

画像データ



Hela 細胞ライセートのグルタミナーゼ C ウサギ mAb を用いたウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。1、グルタミナーゼ C ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4℃、一晚)。2、抗体賦活化には EDTA pH 9.0 を使用 (>98℃、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。